

アトリエみつしま 企画展

メシマ
ソのな
キキ



石原友明

ロビン・オウイングス

大谷重司

かつふじたまこ

光島貴之

2024年9月29日(日) - 11月3日(日)

主催：アトリエみつしま
助成：Art Collaboration Kyoto 実行委員会
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人きょうと視覚文化振興財団



アトリエみつしま Sawar-Tadani

開館時間： 11:00-18:00 ※10月30日(水)から11月3日(日)は20:00まで
休館日： 月曜日 ※10月14日(月)は開館し、10月15日(火)は休館
観覧料： 500円 ※小学生以下、障害者手帳をお持ちの方と付添者1名は無料

本

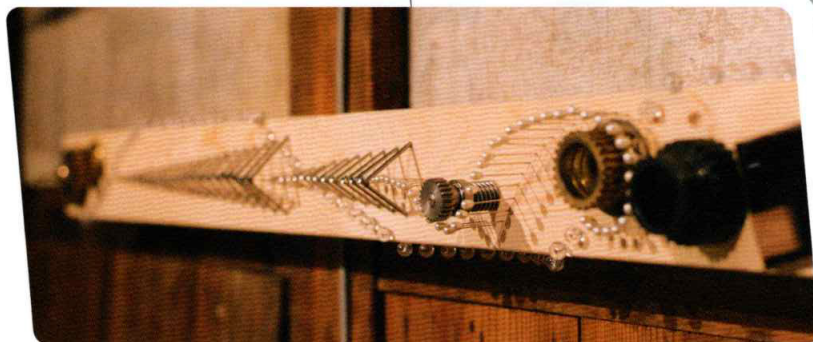
展覧会は「まなざし」をテーマとし、まなざしと時間のかかわりについて考えます。
私たちの位置は常に現在にあります、そこから過去を見つめたり未来に目を向ける
ことで、イメージの中では自在に時を往来しています。

虚空を見つめて、遠い目をする。そうして何かの記憶に思いを馳せる瞬間、私たちはここにいるにもかかわらず眼前にある風景を見ていません。観念上のまなざしは、心理的に離れたことがらを心に映すことで、現実空間の制約から私たちを解放してくれるのです。

本展覧会では、全盲の大谷重司と光島貴之、晴眼の石原友明とロビン・オウイングス、かつふじたまこといった視覚にさまざまな特性のある作家を迎え、それぞれ独自の視座から、時を見つめるまなざしの行方を追います。来し方を思い行く末に心をひらく私たちのあり方を、あらためて見つめ直す機会となれば幸いです。

光島貴之 Mitsushima Takayuki

1954年京都府生まれ。10歳頃に失明。大谷大学文学部哲学科を卒業後、鍼灸院開業。鍼灸を生業としながら、1992年より粘土造形を、1995年より製図用インテールとコッティングシートを用いた「さわる絵画」の制作を始める。他作家とのコラボレーションや、「触覚カラーージュ」「釘シリーズ」などの新たな表現手法を探索している。「MOTサテライト2019 ひろがる地図」(東京都現代美術館、2019)、「今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト〈感覚の点P〉展 プレイバント」(東京都渋谷公園通りギャラリー、2024)。



《歯車とビスケット》2022 釘、まち針、ピン、歯車、タイル、木材 撮影：堀井ヒロツグ

大谷重司 Ohtani Juji

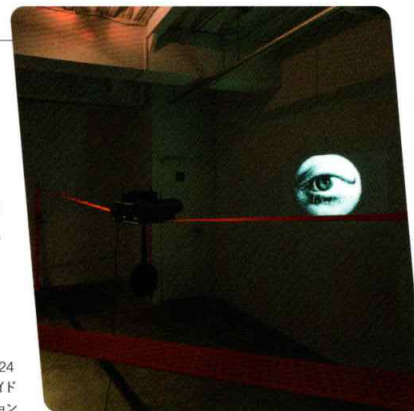
1957年富山県生まれ。1980年創形美術学校卒業。1987年東京ヘレンケラー学院卒業。1986年鍼灸・マッサージ治療院を開業する。2004年よりワークスアプリケーションズにてヘルスキーパーとして勤務する傍ら、クリエイティブ・アート実行委員会が主催するワークショップに参加し、2014年より立体造形をはじめ。近年の作品として、「多様性を育む美術展覧会」(東京芸術劇場 アトリエーセント/東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ、2023年)、「触覚する衣服」(渋谷キャストスペース、2024年)など。



《建前を駆逐する本音》2024 布、エポキシ樹脂

石原友明 Ishihara Tomoaki

1959年大阪市生まれ、1984年京都市立芸術大学大学院修了、写真など様々な近代のメディウムを使った作品で身体イメージの読替えと再表象を試みている。セルフポートレート、点字絵画や皮の彫刻による視覚と触覚の交換、インスタレーションによる空間の経験など。主な個展に、「美術館へ、盲人と、透明人間とが、出会ったと、せよ。」(キリンプラザOSAKA、1996)、「美術館へのパッサージュ」(栃木県立美術館、1998)、「縄とフランケン」(MEM、2021)、「石原友明展-Selfies」(京都市立芸術大学、2024)。



《不安定な目》2024
スラックライン、プロジェクター、35mmスライド
サイズ可変インスタレーション

ロビン・オウイングス Robin Owings

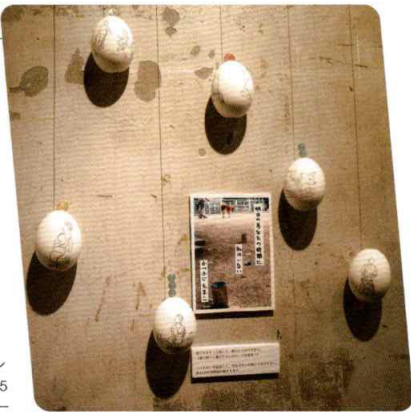
1991年アメリカ、アラバマ州生まれ、2017年より京都市に移住。インスタレーション、絵画、音楽といった様々な形の芸術作品を制作している。目の前の生きている世界に近づき、正面に座り、よく見ることで、その質感に触れることの練習であり、好奇心から「生きているものの美しさ」を祝う練習です。主な展覧会として、個展「秋の鴨川風景スケッチ」(京都、2019)、個展「ツツジ」(京都、2020)、「原泉アートデイズ!」(静岡、2020-2022)、ソノチ×Robin Owings「あなたはきえる」(京都、2023)。



《石のための模様》2022
外のインスタレーション 石、布、木材
サイズ可変

かつふじたまこ Katsufuji Tamako

音作家。90年代半ばより詩や言葉を用いた音作品の制作を始める。2000年フランス国立視聴覚研究所INA-GRMIにて作曲を学ぶ。何気ない日常から小さな奇跡(音)を拾い集め紡ぎ出し、日常の隣のちよとへてこな世界を表現するその作品は、フランスの国際電子音響音楽祭からの作曲委嘱、NYのインターネットラジオでの特集など、国内外で上演されている。一方、鍵盤ハーモニカとビーズ、スプーン、紙コップなどの日用品で奏でる繊細な生音と、サンプリング、エレクトロニクスを組み合わせた即興演奏でも、唯一無二の音世界を作り出す。



サウンドインスタレーション
《明日のあなたの時間に私はいない》(部分) 2015
卵の殻マラカス、CDプレーヤー

関連企画

トークイベント ① | 9月29日回 14:00~16:00
対話鑑賞イベント | 10月13日回 14:00~16:00 (定員10名・要申込)
ACK 西陣・紫野アートナイト | 10月30日回 ~20:00まで開館
トークイベント ② | 11月1日回 18:00~19:30
*申込方法などについてはアトリエみつしまWebサイト、SNSをご参照ください。

アトリエみつしま

〒603-8215
京都市北区紫野下門町44

京都市営地下鉄・烏丸線「北大路」駅下車
北大路駅バスターミナル「青」のりばより
京都市バス 1・北8・M1・101・102・204・205・206系統にて約5分
「大徳寺前」バス停より徒歩3分



問合せ先

075-406-7093

atelier.mtsm@gmail.com

mtsm.jimdo.free.com

